

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分
 【発行日】平成 18 年 5 月 18 日 (2006.5.18)

【公開番号】特開 2001-64659 (P2001-64659A)
 【公開日】平成 13 年 3 月 13 日 (2001.3.13)
 【出願番号】特願 平 11-238636
 【国際特許分類】
 C 1 0 L 1/04 (2006.01)
 【F I】
 C 1 0 L 1/04

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 3 月 15 日 (2006.3.15)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 8
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 0 8】
 【実施例】

次に、本発明を実施例によりさらに詳しく説明するが、本発明は、これらの例によってなんら限定されるものではない。

実施例 1, 2 及び比較例 1, 2

目開き 5 μ m のフィルター（ろ過面積：1 5 2 mm ϕ × 3 6 8 リットルのマイクロカートリッジ 1 2 0 本）を用い、ろ過速度 1 2 0 キロリットル／h r の条件で各燃料油をろ過して、第 1 表に示す性状のものを調製し、実施例 1, 2 及び比較例 2 のものについては、下記のガスタービンによる燃焼テストを行い、バッハラッカ数を求めた。その結果を第 1 表に示す。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 9
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 0 9】

<ガスタービンによる燃焼テスト>

一軸オープンサイクルガスタービン（出力 1 5 0 0 kW）を用い、負荷：1 2 0 0 ～ 1 2 5 0 kW、タービン吸気温度：1 8 . 9 ～ 2 1 . 0 °C、タービン出口排気ガス温度：5 2 0 ～ 5 3 3 °C、燃料流量：5 3 0 ～ 5 4 0 リットル／h r、蒸気発生：3 . 9 8 ～ 4 . 1 0 k g／h r の条件にてガスタービンによる燃焼テストを行い、バッハラッカ数を求めた。

【手続補正 3】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 1 1
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 1 1】

【表 1】

第 1 表－ 1

		実施例	
		1	2
15℃ の密度 (g/ミリリットル)		0.8611	0.8543
硫黄分 (重量%)		0.07	0.07
90%留出温度 (℃)		350	330
灰分 (重量%)		0.01>	0.01>
水分 (容量%)		0.1>	0.1>
反応		中性	中性
引火点 (℃)		72	68
動粘度 (50℃) (mm ² /秒)		2.94	2.49
発熱量 (kJ/リットル)		39,030	38,810
10%残留炭素分 (重量%)		0.25	0.33
残留炭素源		RC	RC
微粒きょう雑物含有量 (mg/リットル)		3.7	4.2
微粒きょう雑物の 粒径毎の個数 (×10 ³ 個/リットル)	直径 5 μm>	1,870	2,278
	直径 5 ~15 μm	1,093	1,586
	直径15 μm<	133	158
ガスタービンによる燃焼テスト (パッハラッカ数)		1	0

(RC : 常圧残渣油)

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

【表 2】

第 1 表－ 2

		比較例			
		1	2	3	4
15℃ の密度 (g/ミリットル)		0.8564	0.8517	0.8610	0.7930
硫黄分 (重量%)		0.08	0.07	0.07	0.004
90%留出温度 (℃)		350	369	348	240
灰分 (重量%)		0.01>	0.01>	0.01>	0.01>
水分 (容量%)		0.1>	0.1>	0.1>	0.1>
反応		中性	中性	中性	中性
引火点 (℃)		70	75	71	43
動粘度 (50℃) (mm ² /秒)		2.94	3.06	2.90	1.30
発熱量 (kJ/リットル)		38,870	38,720	39,020	36,740
10%残留炭素分 (重量%)		0.22	0.34	0.24	0.0
残留炭素源		DSRC	エクストラクト	RC	なし
微粒きょう雑物含有量 (mg/リットル)		18.1	0.2	20.3	0.1
微粒きょう雑物の 粒径毎の個数 (×10 ³ 個/リットル)	直径 5 μm>	31,014	1,881	3,451	—
	直径 5～15 μm	17,996	895	2,030	—
	直径15 μm<	112	114	1,568	—
ガスタービンによる燃焼テスト (バッハラッカ数)		—	3	—	—

(RC : 常圧残渣油)

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

第 1 表から分かるように、比較例 1 のものは、残留炭素源が DSRC 由来のものであって、微粒きょう雑物含有量が規定値を超えており、また、直径 5 μm 未満の微粒きょう雑物の個数及び直径 5～15 μm の微粒きょう雑物の個数が実施例のものに比べて多い。比較例 2 のものは、90%留出温度が規定値を超えており、そしてガスタービンによる燃焼テストにおいてバッハラッカ数が高い。比較例 3 のものは、フィルターろ過を行っていないので、微粒きょう雑物の含有量が規定値を超えており、そして直径 15 μm を超える微粒きょう雑物の個数が実施例のものより著しく多い。比較例 4 のものは灯油であり、発熱量が、他の例のものに比べてかなり低い。